



日本の宇宙開発発祥の地 国分寺市



小惑星 Kokubunji 誕生 8 周年記念

宇宙科学講演会

小惑星探査機「はやぶさ2」が道筋をつけた惑星探査の最前線、
アルマ望遠鏡が切り拓く最新の天文学、三人の講師によるスペシャルトークショーなど、
心ときめく宇宙科学の魅力をお届けします。

参加無料

2023.2.4(土)

14:00-16:45 開場 13:30

cocobunji プラザ リオンホール

申込期間1月4日~31日

定員

100名(事前申込制)

※QRコードからお申込みください。



対象

どなたでも (中学生以上におすすめ)

ライブ配信

別途、国分寺市ホームページや
Twitter等でご案内予定です。



講師プロフィール



つだ ゆういち
津田 雄一 さん

宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教授

工学博士。専門は太陽系探査、宇宙工学、宇宙航行力学。ソーラーセイル実証機IKAROSサブチームリーダーを経て、2015年より小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトマネージャとして、小惑星のサンプル採取と地球帰還を成功させました。



さかもと せいいち
阪本 成一 さん

国立天文台 教授

理学博士。専門は電波天文学。南米チリ・アンデスの標高5,000mの高地に完成した世界最大の電波望遠鏡「アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計(ALMA)」の建設に従事し、国立天文台チリ観測所長を務めた後、現在はALMAプロジェクトの東アジア統合技術チーム チーム長を務めています。



すずき かずよし
鈴木 一義 さん

国立科学博物館 名誉研究員
(元 産業技術史資料情報センター長)

国立科学博物館で30年以上にわたって、日本における科学および技術の発展状況を、特に江戸時代から現代にかけて、江戸時代のからくり人形から、現代の自動車、航空機産業まで、幅広い分野で博物館的な実物資料の視点から実証的な見地で調査・研究を行っています。

プログラム

講演「最新の惑星探査」

津田 雄一さん

講演「ALMA 望遠鏡が切り拓く最新の天文学」

阪本 成一さん

スペシャル トークショー

津田 雄一さん 阪本 成一さん
(モデレーター)
鈴木 一義さん

小惑星 Kokubunji とは?

国分寺市は、ベンシルロケットの水平発射実験が行なわれた記念すべき場所であることから、NPO法人日本スペースガード協会および(一財)日本宇宙フォーラムの厚意で、国分寺市制施行50周年の記念として、小惑星に「Kokubunji」と命名する提案申請がされ、平成27年2月3日に、国際天文学連合によって小惑星「Kokubunji」として、公式決定されました。小惑星Kokubunjiとなった小惑星87271番(2000 PY3)は、平成12年8月3日、美星スペースガードセンター(岡山県井原市)で、日本スペースガード協会の小惑星観測プロジェクトBATTeRSにより、やぎ座の方向に18.2等で発見されました。この小惑星は、約4年2か月で太陽の周りを回っていて、直径は約4kmと推定されています。

※講師の都合により、リモート登壇になる場合があります。